

豊田市都心地区空間デザインをかんがえる 市民ワークショップ（第4回）

平成 29 年 2 月 19 日（日）10 時 00 分～12 時 00 分

豊田市役所東庁舎 7 階大会議室

座 長：小林 正美（明治大学 教授）
星野裕司（熊本大学大学院 准教授）

参 加 者：39 人

開催内容

1. 第 3 回 WS の振り返り
2. 豊田市都心地区空間デザイン基本計画（素案）の説明・今後のスケジュール
3. 意見交換会
4. アドバイザーよりコメント

意見交換会（主な意見と回答）

- ・人がたくさん示されているが、果たして豊田の人は道沿いで飲食するのか。というのもプロントの前に居座っている人が少なかった。デザイン面での工夫が求められる。
- ⇒各場面に椅子、テーブルが出たことは良いが、出ているだけなので、デザインしていく歩行空間との両立が必要。居心地のよい空間としないと誰も座らない。実証実験を重ねることによって計画をカスタマイズし、慣れていくことが必要。
- ・誰を対象としたデザイン案なのか。外から人を呼んでくるという姿勢が見えない。美術館やスタジアムとの繋がり、1 日中この駅前にはどうするか。
- ⇒まずは今都心地区を使っている人の利用時間を増やすことが第一だと考えている。今の利用者の居心地を最優先させることを考えている。外から呼ぶことだけが大事ではなく、まちを自分たちの場所として使いこなしていくことを考えてほしい。
- ・挙母祭りに関して、時代によって回し方も変わってきている。これからフルモール化されると、駅前に車が入ってくるのが大変だし、不便になりそう。
- ⇒都心の通過車両が問題になっている。バイパスなどの計画があるが、もっと大きな範囲で考えていくべき。どんどん実証実験を行っていききたい。
- ・マンション住民やお年寄りなどが外に出てくるだけでも成功である。皆の「庭」のような空間になれば誰が来ても良いところである。
- ・現在のバスターミナルは KKUK（暗い、汚い、うるさい、臭い）であるが、一新するとすごく変わる。

【今までの計画の進め方について】

- ・今までの進め方に不満はない、とても良いと思う。

【一般市民の方々の参加について】

- ・これまでの過程を広く公開してほしい。ここへ来ている人以外にも広く発信したい。未来デザインセンターなども出来るのであれば、期待したい。
- ⇒今後検討を進めていくが、とよた未来デザインセンターでも情報公開していきます。

【まち育て（エリアマネジメント）の参加表明】

- ・市民の意見を広く聞くというのはこれからも必要。計画を進めていく上で誰がどう関わっていくかが大事。駅前にできるとよた未来デザインセンターも期待している。
- ・自分たちも出来ることは情報発信していきたい。

【その他】

- ・昔のように「市駅に遊びに行くぞ」という感覚を取り戻したい。

— 以 上 —